

令和8年度 小集団・低学年運動クラブ（火・木） 年間カリキュラム

【ねらい】

- ① 集団活動に参加できるようになる。
- ② ルールや約束事を理解し行動できるようになる。
- ③ 運動機能の向上。
- ④ 運動遊びを通して五感を育む。

【支援方針】

- ① グループ活動を沢山取り入れて他者意識を持てるように支援する。
- ② アプローチするポイントを絞って活動内容を組む。
- ③ 視覚的支援ツールを活用し各児が理解しやすい環境設定を行い、基礎的な部分を定着させていく。
- ④ 『できた・楽しい』という経験を積み、意欲的に活動に参加できるよう、能力に応じたグループ分けを行い、提供する活動内容を変えてサポートする。
- ⑤ 基礎的な身体の使い方を学べるように、体幹や柔軟性を培うトレーニング(遊び)を取り入れ、体の軸を整えていく。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)
4月	レクリエーションゲーム	●活動を通してコミュニケーションを図る。 ●他児との関わりやルールを守って活動に参加する。	【健康・生活】 ・身体の基盤を整える。 ・基本的生活スキルの獲得。 【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。 ・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。 【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成（数、大小、色など）。 ・場に適した行動ができるようになる。 【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓（指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等）。 ・読み書き能力の向上。 【人間関係・社会性】 ・アタッチメント（愛着行動）の形成。 ・模倣行動の獲得。 ・感覚運動遊びから象徴遊びへの移行。 ・一人遊びから協同遊びへの移行。 ・自己理解とコントロールができるようになる。 ・集団への参加。	●環境の変化に慣れない児童がいる。 ⇒できる・楽しいと思えるような環境やプログラムを作成する。 ●児童が困っている部分などについて、職員同士で連携しサポートする。
5月	身体作り運動			
6月	(火曜日) 感覚運動(運動遊び)	(火曜日) ●ボディイメージの形成。 ●集中力や持続力の向上。 ⇒ゲーム形式で行い、楽しく参加できる環境設定にする。		●苦手意識からやりたくないという子どもへの援助を怠らないようにする。 ●同じプログラム内容を続けると飽きが出てしまう⇒ゲーム等の内容を変える。 ●ルール理解ができない児童に対する対応 ⇒視覚支援や個別対応等で支援する。
7月	(木曜日) 器械運動	(木曜日) ●手足の使い方を学ぶ。 ●筋力・柔軟性を養う。 ●ルールを守り参加する。 ●様々な「技」に取り組み、個々が達成感を得る。		
8月	ボッチャ	●新しい競技のルールを覚え楽しく参加する。 ●チーム活動を知ってもらう。		●道具の使い方 ⇒適切な使い方・約束事項を決めておく。
9月	風船遊び	●ボール競技に向けて基本的な動作の取得。 ●ルールを楽しく理解して参加する。 ●手と目の協応動作を促進する。 ●空間認知を培う。		
10月	(火曜日) 器械運動	(火曜日) ●手足の使い方を学ぶ。 ●筋力・柔軟性を養う。 ●ルールを守り参加する。 ●様々な「技」に取り組み、個々が達成感を得る。		●苦手意識からやりたくないという子どもへの援助を怠らないようにする。 ●同じプログラム内容を続けると飽きが出てしまう⇒ゲーム等の内容を変える。 ●ルール理解ができない児童に対する対応 ⇒視覚支援や個別対応等で支援する。 ●道具の使い方 ⇒予め児童に伝える。
11月	(木曜日) 感覚運動(運動遊び)	(木曜日) ●ボディイメージの形成。 ●集中力や持続力の向上。 ⇒ゲーム形式で行い、楽しく参加できる環境設定にする。		
12月	(火曜日) 集団ゲーム (木曜日) ドッジボール	(火曜日) ●ルールを守り活動に参加する。 ●異年齢で協力する・コミュニケーションを図る。 ●リーダーシップの向上(高学年)。 (木曜日) ●ルールを理解し、楽しく参加する。 ●動くものを狙う【動体視力】の向上。		●勝ち負けに対しこだわる児童 ⇒悔しさを次に活かせるように、負の感情との向き合い方を伝える。 ●ルール理解に時間を要する児童 ⇒試合を通して繰り返し説明する。口頭だけでなくイメージしやすいように視覚的ツールを活用する。
1月	(火曜日) サーキット&大縄	(火曜日) ●流れを覚え楽しく参加する。 ●リズム感を養う。 ●中間意識や協調性を育む。		
2月	(木曜日) 大縄&サッカー	(木曜日) ●持久力の向上。 ●チーム意識をもつ。 ●自分の意見を発言する力を培う。		●ルールが守れない児童 ⇒声掛けやルールが守れなかった際はどうか、などの約束事を決める。 ●苦手意識やボールの怖さから消極的になる児童 ⇒職員と一緒に動くなど、ボールに触る機会を設ける。
3月	お楽しみ活動 (春休み期間)	●自分の意見を発信する力を培う。 ●お友達の意見を聞く力を培う。		●思い通りにならないことで負の行動をとる児童 ⇒児の独自ルールなどを許容しつつ、折り合いをつけてもらうための線引きを決め、活動に楽しく参加できるようにサポートする。